

栃木県高等学校新人テニス大会 女子ダブルス 瀬古・嶋田組 念願の初優勝！ 女子シングルス 瀬古真理愛 準優勝！

9月20・23日、栃木県総合運動公園、清原中央公園で、「新人戦 県大会」が行われました。この大会は、8月下旬の「新人戦 北部支部大会」で勝ち残った選手に出場権があり、各地区代表のダブルス48ペア、シングルス48人が出場しました。幸福の科学学園からは、ダブルス男子2ペア・女子3ペア、シングルス男子2人・女子5人が出場しました。

このうち20日の女子ダブルスでは、扇来夢・石倉茜ペアが3回戦まで勝ち上がりベスト16、浅田愛美・山本美遥ペアが4回戦まで勝ち上がりベスト8に入りました。

また、瀬古真理愛・嶋田愛ペアは、準決勝で第2シードの足利女子高校ペアを⑥-0でやぶり、決勝戦では第5シードの栃木商業ペアを⑥-2でやぶって、創立5年目の学園としては初めての県大会での個人戦制覇を果たしました（団体戦は今年の春、栃木県総合体育大会で初優勝をしています。また、女子のダブルスでは、昨年の春の高校総体の県予選で、2期生の山田晴菜・森春香ペアが第3位に入賞したのが、過去最高の成績でした。）。

また、23日の女子シングルスでは、浅田愛美、扇来夢、山本美遥の3人が、3回戦まで勝ち上がり、ベスト16に入り、嶋田愛は、4回戦、ベスト8に入りました。さらに、瀬古真理愛は、驚異的な粘りを見せ、技術的には格上であろうと思われる相手に、4回戦で⑥-4、準決勝で⑦-5と競り勝ち、決勝戦へと駒を進めました。決勝では、力尽きて、敗れ、準優勝となりましたが、いままで、シングルスではベスト8が最高記録だった壁を一気に打ち破り、準優勝となりました！

この夏、多くの遠征を重ねながら培ってきた力が発揮できた試合でした。学園に入学し、中学生からラケットを持ち、暑い日も寒い日も毎日休まず、必死で努力してきたことが、一つの形となって報われた結果でした。

このあと、10月27日（月）には、「新人戦 県大会の団体戦」があります。念願の団体優勝→関東大会出場→全国選抜大会出場にむかって、さらなる精進・努力を積み重ねていきたいと思います。

